

# 兵庫県の決算見込

(平成18年度)

兵庫県企画管理部財政課

# 〈目 次〉

|     |                   |    |
|-----|-------------------|----|
| I   | はじめに              | 1  |
| II  | 一般会計決算見込みの概要      | 2  |
| 1   | 決算規模              | 2  |
| 2   | 決算収支              | 2  |
| 3   | 決算の特徴             | 2  |
| 4   | 歳 入               | 5  |
|     | (1) 県税            | 7  |
|     | (2) 地方交付税・臨時財政対策債 | 7  |
|     | (3) 国庫支出金         | 9  |
|     | (4) 基金繰入金         | 9  |
|     | (5) 県債            | 11 |
| 5   | 歳 出               | 13 |
|     | (1) 義務的経費         | 14 |
|     | (2) 投資的経費         | 15 |
|     | (3) その他の経費        | 16 |
| III | 特別会計決算見込みの概要      | 17 |
| IV  | 公営企業会計決算見込みの概要    | 18 |

# 1 はじめに

## 1 平成18年度決算見込みの概要

平成18年度の本県の財政を取り巻く環境は、歳入面では好調な企業業績を反映して税収が前年度に引き続き増加したものの、地方交付税や臨時財政対策債が減少する一方、歳出面では福祉関連経費や退職手当などの義務的経費が増嵩するなど、引き続き極めて厳しいものとなった。

このような状況を踏まえ、「行財政構造改革推進方策後期5か年の取組み」を基本に、行財政全般にわたる徹底した見直しを行うとともに、退職手当債、資金手当債の発行や公営企業会計からの借入などの財源対策を講じたことにより、一般会計歳入歳出決算見込みは、昭和52年度以降30年連続で実質収支の黒字をкаろうじて確保したものの、黒字幅は過去最小となり、実質単年度収支は6年連続の赤字となった。

また、県債管理基金の大幅な残高不足（平成17年度末で不足額3,700億円、不足率90%）の影響により、実質公債費比率は19.6%と18%を超え、引き続き起債許可団体にとどまることとなった。

## 2 行財政構造改革への取組み

今後、少子高齢社会や人口減少社会の到来を見据え、県民の要請に的確に対応し、元気な兵庫づくりを進めていくためには、震災の影響により悪化した県財政を改善するとともに、行財政構造を持続可能なものへ転換していかなければならない。

このため、本年4月、知事を本部長とする「行財政構造改革本部」を立ち上げ、組織や定員・給与、投資事業、事務事業など行財政全般にわたるゼロベースでの総点検に着手している。地方公共団体の財政の健全化に関する法律が、平成20年度決算から適用されることから、先行実施するものは平成20年度当初予算に反映し、また、新しい行財政構造改革推進方策全体については、平成20年度の中頃を目途に策定することとする。

## II 一般会計決算見込みの概要

### 1 決算規模

投資的経費及び公債費が減少したことにより、2年連続で前年度を下回った。

|    |           |                 |
|----|-----------|-----------------|
| 歳入 | 2,039,782 | 百万円 (前年度比96.9%) |
| 歳出 | 2,035,845 | 百万円 (前年度比96.9%) |

### 2 決算収支

退職手当債、資金手当債の発行や公営企業会計からの借入などの財源対策を講じたことにより、かろうじて79百万円の実質収支の黒字を確保。

しかし実質単年度収支は482百万円の赤字。

#### (1) 実質収支 79百万円の黒字

- ・昭和52年度以来、30年連続黒字を確保
- ・黒字額は前年度より147百万円縮小し、黒字幅は30年間で最小

#### (2) 実質単年度収支 482百万円の赤字

- ・平成13年度以来、6年連続赤字

#### ◇1 決算収支の状況

(単位：百万円、%)

| 区分              | 18年度      | 17年度      | ⑱-⑰     | ⑱/⑰    |
|-----------------|-----------|-----------|---------|--------|
| 歳入総額 A          | 2,039,782 | 2,106,108 | ▲66,326 | 96.9%  |
| 歳出総額 B          | 2,035,845 | 2,101,238 | ▲65,393 | 96.9%  |
| 形式収支 C=(A-B)    | 3,937     | 4,870     | ▲933    | 80.8%  |
| 翌年度繰越財源 D       | 3,858     | 4,644     | ▲786    | 83.1%  |
| 実質収支 E=(C-D)    | 79        | 226       | ▲147    | 35.0%  |
| 単年度収支 F         | ▲147      | ▲539      | 392     | 27.3%  |
| 財政基金積立金 G       | 115       | 383       | ▲268    | 30.0%  |
| 財政基金取崩額 H       | 450       | 0         | 450     | -      |
| 実質単年度収支 (F+G-H) | ▲482      | ▲156      | ▲326    | 309.0% |

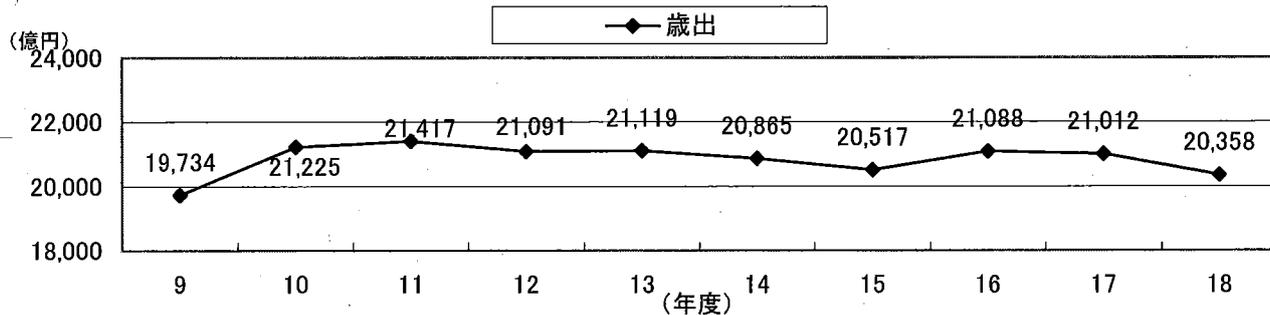
### 3 決算の特徴

- ・一般財源比率 57.0%  
〔三位一体改革による税源移譲等に伴い前年度に比べて4.0ポイント上昇〕
- ・自主財源比率 56.3%  
〔県税収入の増加等により前年度に比べて3.3ポイント上昇〕
- ・財政力指数 0.532  
〔決算規模の縮小や三位一体改革による税源移譲等に伴い前年度に比べて0.045上昇〕
- ・経常収支比率 96.4%  
〔定年退職者に係る退職手当や福祉関連経費が増加したものの、公債費の減少や地方税収入の増加、三位一体改革による税源移譲等に伴い経常一般財源が増加したため、前年度に比べて1.0ポイントの低下となった。〕
- ・実質公債費比率 19.6% 前年同率 (引き続き起債許可団体)  
〔公債費は減少(※)したが、県債管理基金の大幅な残高不足の影響等により19.6%と18%を超え、引き続き地方債許可団体にとどまる水準となっている。〕
- ・起債制限比率 12.3% 前年度に比べて1.5ポイント低下

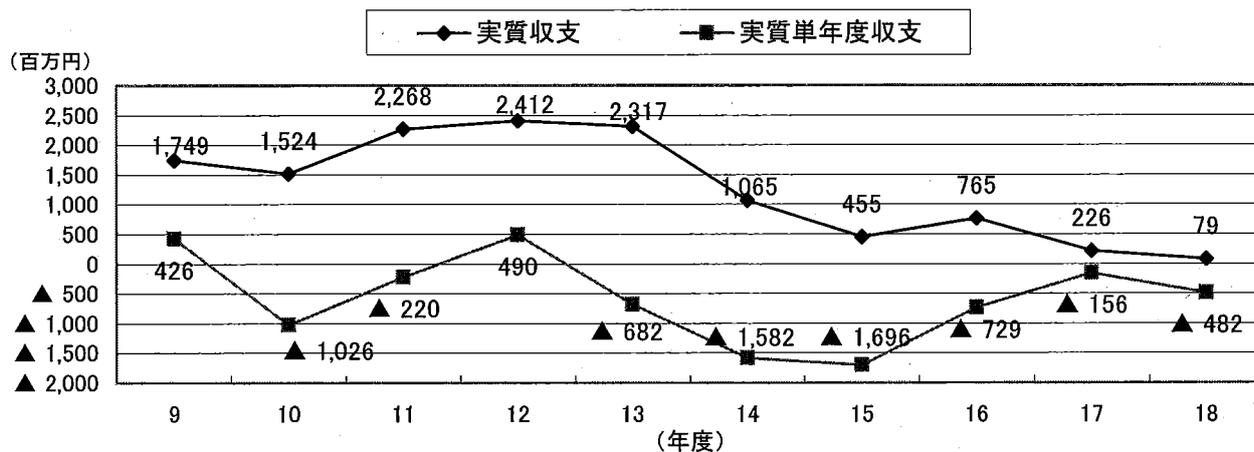
#### (※) 公債費減少の主な要因

- ・平成18年度の簡保資金の償還日(H19.3.31)が土曜日であったことから、当該資金については翌営業日(H19.4.2)に償還することとなり、平成19年度の歳出となったことにより減少(126億円)
- ・平成17年度に阪神・淡路大震災復興基金貸付金債の償還が完了したことによる利払いの皆減(314億円)

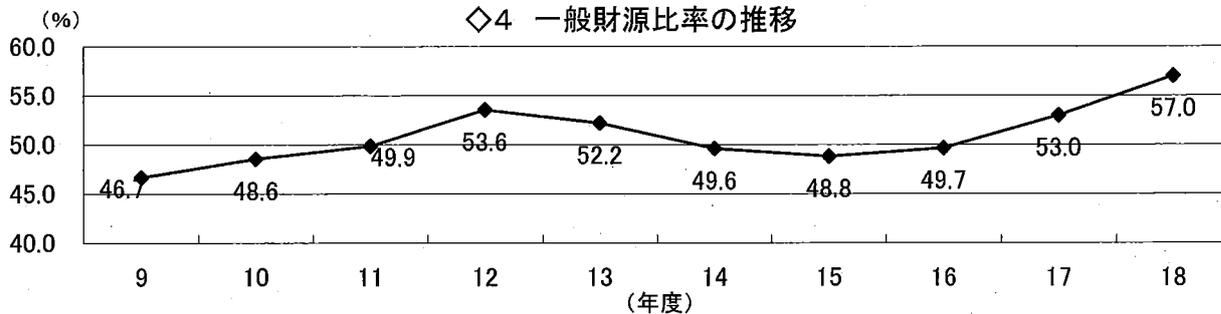
### ◇2 決算額の推移



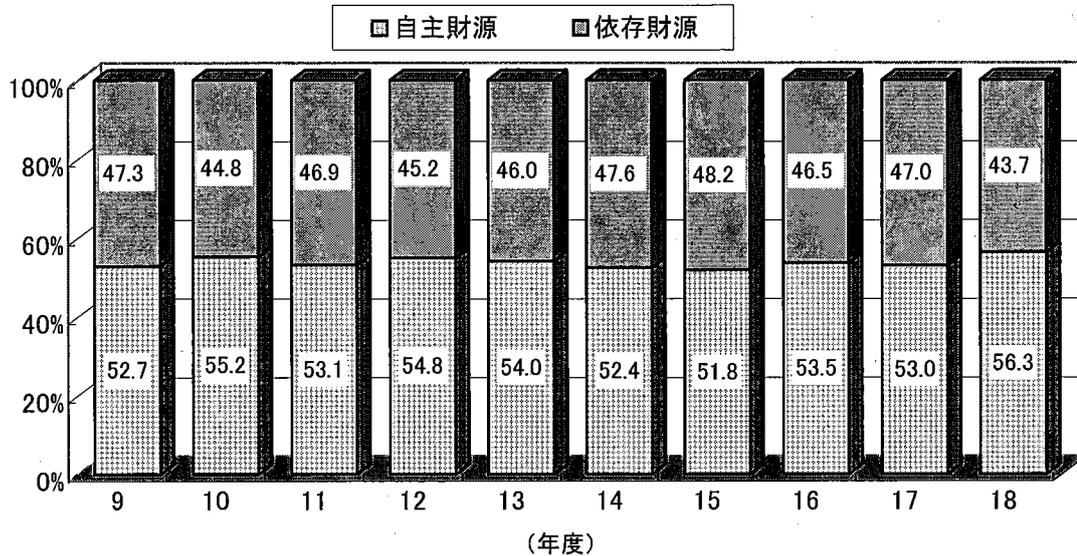
### ◇3 決算収支の推移



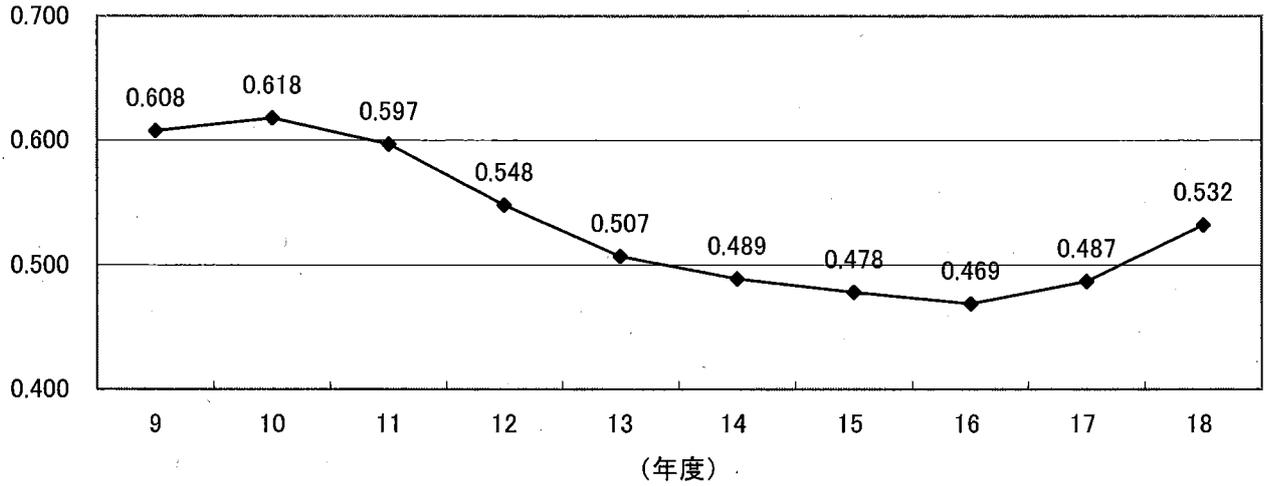
### ◇4 一般財源比率の推移



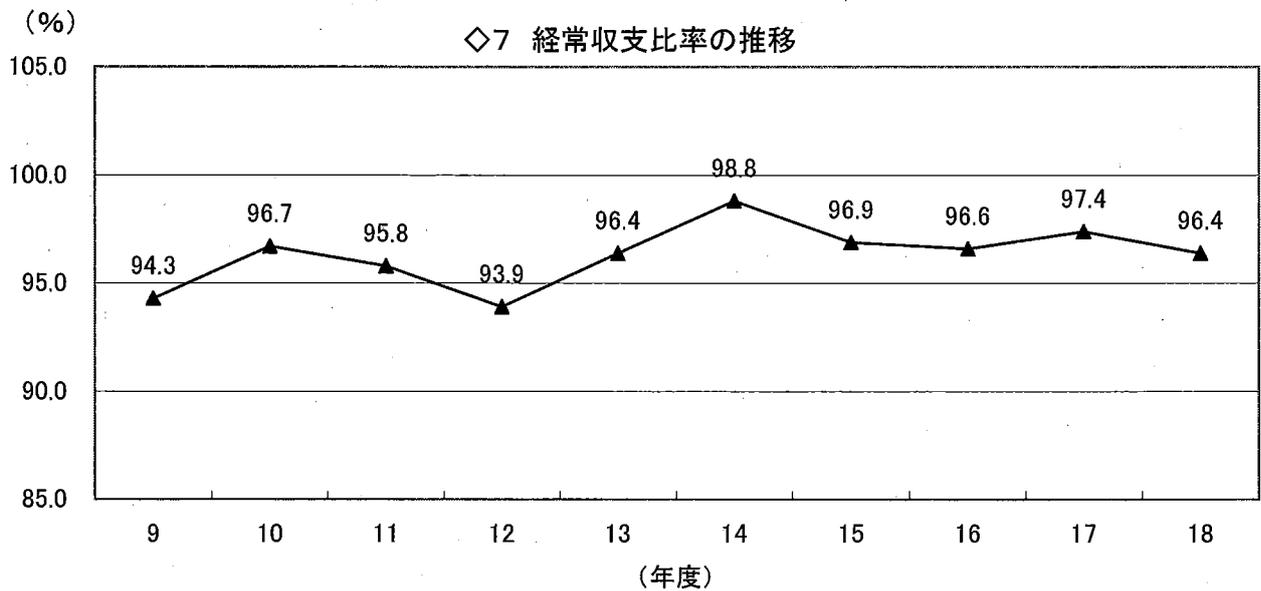
### ◇5 自主財源と依存財源の割合



◇6 財政力指数の推移



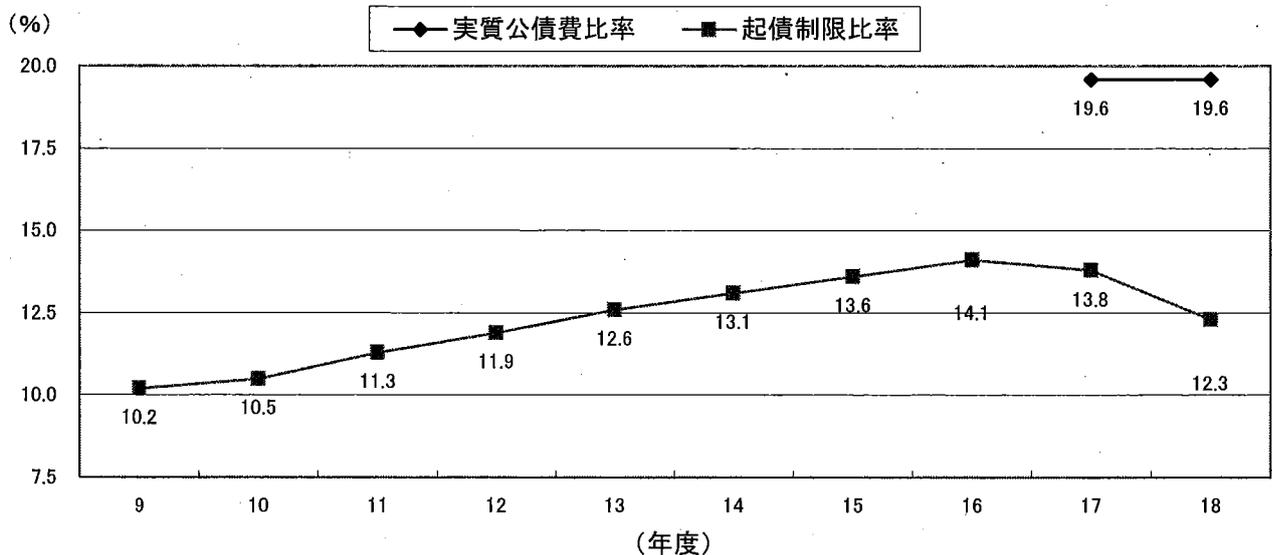
◇7 経常収支比率の推移



※1 普通会計ベース

2 税・地方交付税の振替である臨時財政対策債及び減税補てん債を経常一般財源に含めている

◇8 起債制限比率(一般会計)・実質公債費比率(普通会計)の推移



## 4 歳 入

1. 県 税 6, 252 億円 (前年度比 +558 億円, +9. 8%)

・3年連続で前年度を上回り、決算ベースで過去3番目の水準

2. 地方交付税等 3, 810 億円 (前年度比 ▲582 億円, ▲13. 3%)

・県税収入の増加や阪神・淡路大震災復興基金等に対する地方交付税措置の終了等に伴い、3年連続で大幅に減少

3. 国庫支出金 1, 927 億円 (前年度比 ▲601 億円, ▲23. 8%)

・平成16年災害に係る繰越事業の終了に伴う国庫補助負担金の減や三位一体の改革による義務教育費国庫負担金の負担率の引き下げに伴う減等により大幅に減少

4. 県 債 2, 124 億円 (前年度比 ▲165 億円, ▲7. 2%)

・平成16年災害に係る繰越事業の終了に伴う災害復旧事業債の減等により県債発行額が減少

### ◇9 歳入決算の内訳

(単位：百万円、%)

| 区 分                 | 平成18年度    |       | 平成17年度    |       | 増 減<br>(a-b) | a/b   |
|---------------------|-----------|-------|-----------|-------|--------------|-------|
|                     | a         | 構成比   | b         | 構成比   |              |       |
| 1 県 税               | 625,224   | 30.7  | 569,382   | 27.0  | 55,842       | 109.8 |
| 2 地方消費税清算金          | 100,560   | 4.9   | 95,074    | 4.5   | 5,486        | 105.8 |
| 3 地方譲与税             | 101,159   | 5.0   | 62,541    | 3.0   | 38,618       | 161.7 |
| 所得譲与税(※1)           | 95,789    | 4.7   | 57,077    | 2.7   | 38,712       | 167.8 |
| その他の譲与税             | 5,370     | 0.3   | 5,464     | 0.3   | ▲94          | 98.3  |
| 4 地方特例交付金           | 3,132     | 0.2   | 4,564     | 0.2   | ▲1,432       | 68.6  |
| 5 地方交付税等            | 380,958   | 18.7  | 439,172   | 20.9  | ▲58,214      | 86.7  |
| 地方交付税               | 329,792   | 16.2  | 382,666   | 18.2  | ▲52,874      | 86.2  |
| 臨時財政対策債             | 51,166    | 2.5   | 56,506    | 2.7   | ▲5,340       | 90.5  |
| 6 交通安全対策特別交付金       | 2,013     | 0.1   | 1,904     | 0.1   | 109          | 105.7 |
| 7 分担金及び負担金          | 11,007    | 0.5   | 12,348    | 0.6   | ▲1,341       | 89.1  |
| 8 使用料及び手数料          | 27,676    | 1.4   | 29,687    | 1.4   | ▲2,011       | 93.2  |
| 9 国庫支出金             | 192,663   | 9.4   | 252,794   | 12.0  | ▲60,131      | 76.2  |
| 10 財産収入             | 23,990    | 1.2   | 16,895    | 0.8   | 7,095        | 142.0 |
| 11 寄附金              | 480       | 0.0   | 933       | 0.0   | ▲453         | 51.4  |
| 12 繰入金              | 257,278   | 12.6  | 294,584   | 14.0  | ▲37,306      | 87.3  |
| 13 繰越金              | 4,871     | 0.2   | 7,231     | 0.3   | ▲2,360       | 67.4  |
| 14 諸収入              | 96,385    | 4.7   | 90,090    | 4.3   | 6,295        | 107.0 |
| 15 県 債(※2)          | 212,386   | 10.4  | 228,909   | 10.9  | ▲16,523      | 92.8  |
| 合 計                 | 2,039,782 | 100.0 | 2,106,108 | 100.0 | ▲66,326      | 96.9  |
| 一般財源(1~6)           | 1,161,880 | 57.0  | 1,116,131 | 53.0  | 45,749       | 104.1 |
| 特定財源(7~15)          | 877,902   | 43.0  | 989,977   | 47.0  | ▲112,075     | 88.7  |
| 自主財源(1,2,7,8,10~14) | 1,147,471 | 56.3  | 1,116,224 | 53.0  | 31,247       | 102.8 |
| 依存財源(3~6,9,15)      | 892,311   | 43.7  | 989,884   | 47.0  | ▲97,573      | 90.1  |

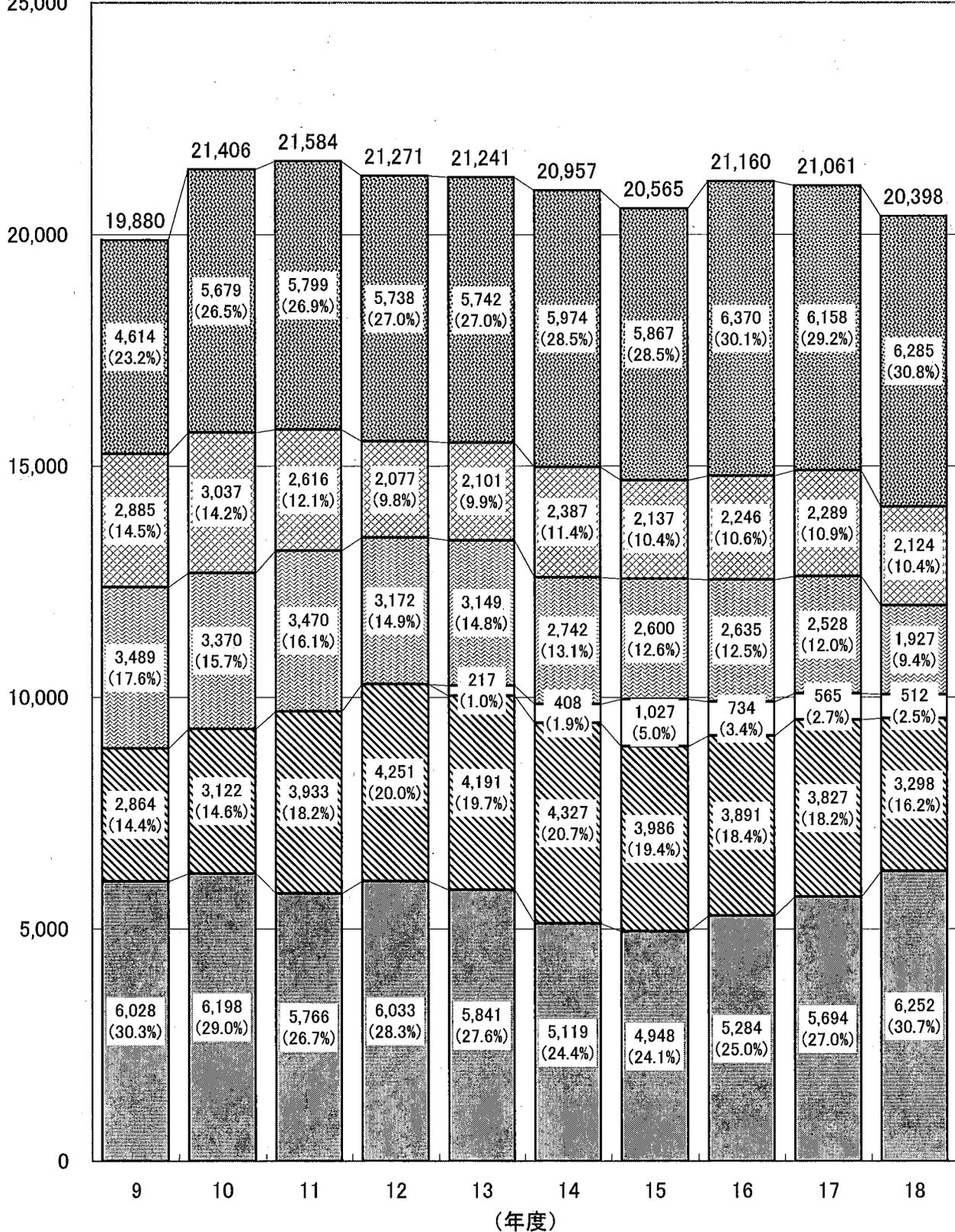
※1：平成17年度の所得譲与税欄には、税源移譲予定特例交付金(27,797百万円)を含む。

※2：県債欄は、臨時財政対策債を除く。

### ◇10 歳入内訳の推移

■ 県税   ▨ 地方交付税   □ 臨時財政対策債   ▩ 国庫支出金   ▤ 県債   ▦ その他の財源

(億円)  
25,000



(1) 県 税

○3年連続で増加しており、前年度比9.8%増の6,252億円

- ・法人関係税は、製造業・非製造業とも企業業績が好調であったことから、前年度を21.3%上回る2,193億円
- ・個人県民税は、定率減税の縮減等税制改正の影響などにより、前年度を13.7%上回る1,272億円
- ・地方消費税は、輸入が引き続き好調であったことから、前年度を5.9%上回る1,026億円
- ・軽油引取税が12億円の減、県民税利子割が17億円の減となったことなどから、その他の税全体では、前年度を28億円下回る1,094億円

◇11 県 税 (単位：百万円、%)

| 区 分   | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 増 減<br>(a-b) | a/b   |
|-------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 県 税   | 625,224   | 569,382   | 55,842       | 109.8 |
| 法人関係税 | 219,251   | 180,739   | 38,512       | 121.3 |
| 個人県民税 | 127,236   | 111,902   | 15,334       | 113.7 |
| 地方消費税 | 102,597   | 96,895    | 5,702        | 105.9 |
| 自動車税  | 66,777    | 67,709    | ▲ 932        | 98.6  |
| その他の税 | 109,363   | 112,137   | ▲ 2,774      | 97.5  |

(2) 地方交付税・臨時財政対策債

○法人関係税が伸びたことや阪神・淡路大震災復興基金等に対する交付税算入が平成17年度で終了したことなどから▲582億円（前年度比▲13.3%）と大幅に減少

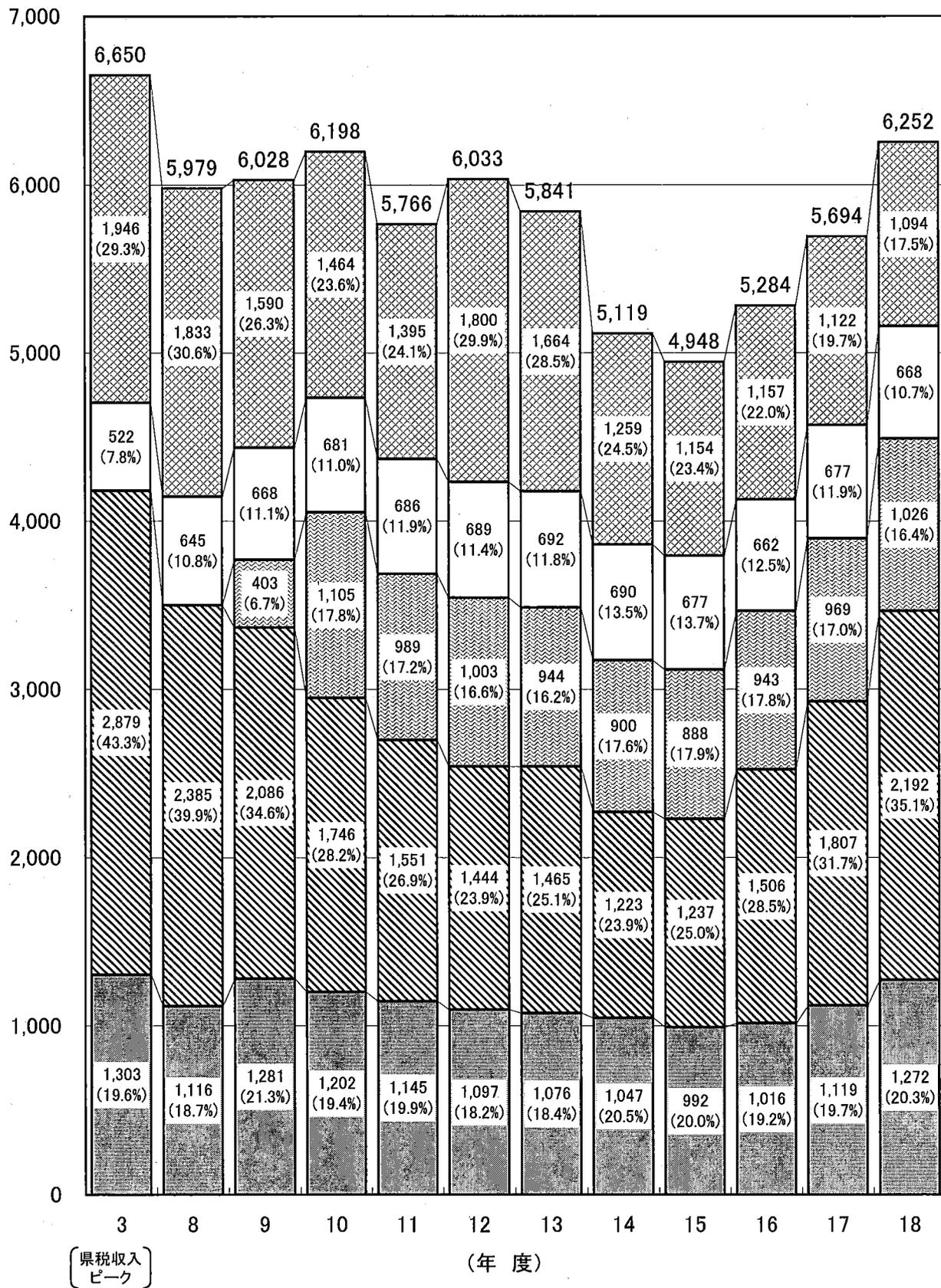
◇12 地方交付税等 (単位：百万円、%)

| 区 分     | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 増 減<br>(a-b) | a/b  |
|---------|-----------|-----------|--------------|------|
| 普通交付税   | 326,884   | 379,125   | ▲ 52,241     | 86.2 |
| 臨時財政対策債 | 51,166    | 56,506    | ▲ 5,340      | 90.5 |
| 小 計     | 378,050   | 435,631   | ▲ 57,581     | 86.8 |
| 特別交付税   | 2,908     | 3,541     | ▲ 633        | 82.1 |
| 合 計     | 380,958   | 439,172   | ▲ 58,214     | 86.7 |

### ◇13 県税収入の推移

■ 個人県民税   ■ 法人関係税   ■ 地方消費税   □ 自動車税   ■ その他の税

(億円)



(3) 国庫支出金

- 平成16年災害(台風23号等一連の風水害)に対する復旧事業が概ね終了したことに伴い国庫補助負担金が284億円減少
- 三位一体の改革による義務教育費国庫負担金の負担率の引き下げ(1/2→1/3)により184億円減少
- 平成17年度において国勢調査が行われたことに伴い27億円減少
- 平成17年度において衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が行われたことに伴い25億円減少

◇14 国庫支出金のうち主な減少要因 (単位:百万円、%)

| 区 分              | 18年度<br>a           | 17年度<br>b | 増 減<br>(a-b) | a/b      |      |
|------------------|---------------------|-----------|--------------|----------|------|
| 国 庫 支 出 金        | 192,663             | 252,794   | ▲ 60,131     | 76.2     |      |
| 主<br>な<br>も<br>の | 災 害 復 旧 事 業 費       | 8,359     | 36,763       | ▲ 28,404 | 22.7 |
|                  | 義 務 教 育 費 国 庫 負 担 金 | 71,642    | 90,068       | ▲ 18,426 | 79.5 |
|                  | 経 済 統 計 委 託 費       | 0         | 2,668        | ▲ 2,668  | 0.0  |
|                  | 衆 議 院 総 選 挙 等 委 託 費 | 0         | 2,470        | ▲ 2,470  | 0.0  |
|                  | 緊 急 道 路 整 備 交 付 金   | 12,563    | 15,850       | ▲ 3,287  | 79.3 |

(4) 基金繰入金

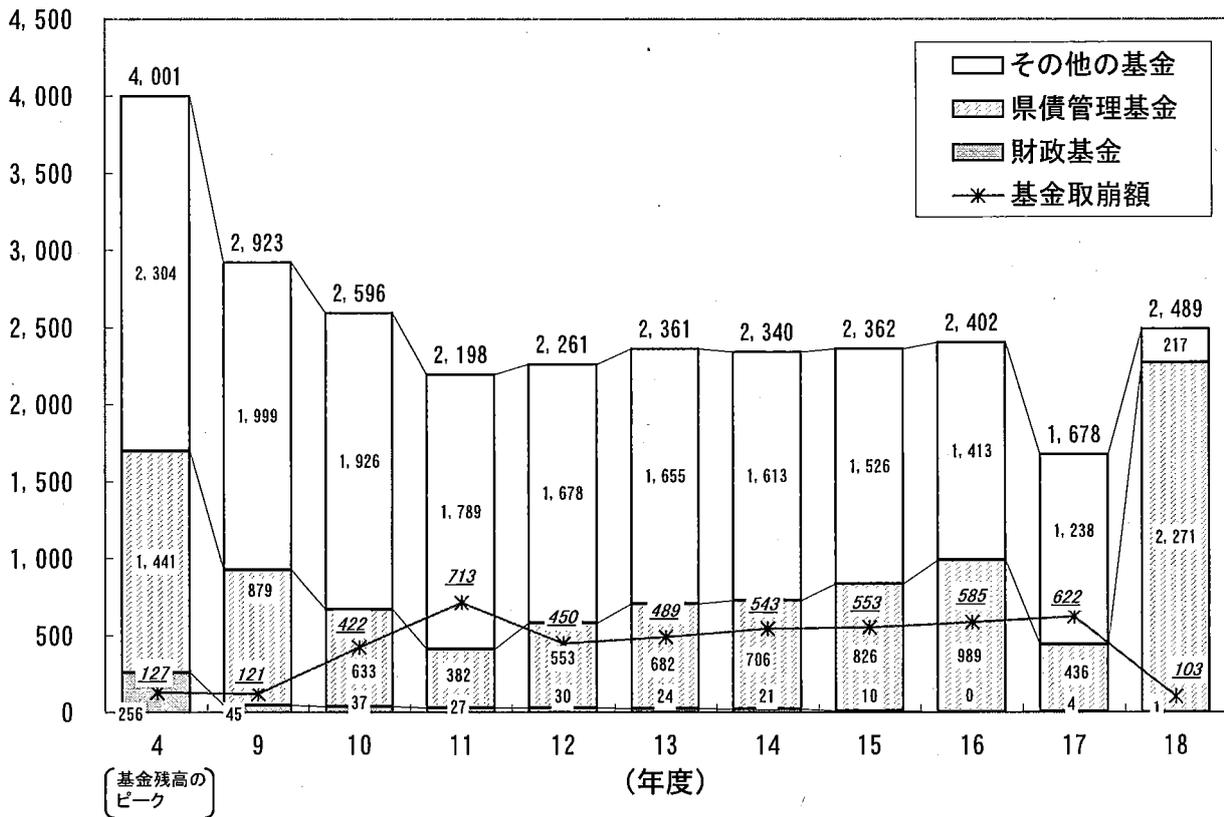
- 県債管理基金の残高不足が実質公債費比率の算定に反映されることから、基金残高を出来る限り維持するために、公営企業会計から200億円の借入れを行い、県債管理基金からの一時借用を抑制したことなどにより、基金取崩額は前年度を519億円下回る103億円となった。
- なお、県債管理基金の残高不足回復のために、県内部基金から1,056億円、県関連団体の基金から473億円を県債管理基金に集約する等の緊急対策を実施したことにより、県債管理基金の残高は、前年度から1,835億円増加し、2,271億円となった。

◇15 基金取崩額 (単位:百万円、%)

| 区 分         | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 増 減<br>(a-b) | a/b  |
|-------------|-----------|-----------|--------------|------|
| 財 政 基 金     | 450       | 0         | 450          | 皆増   |
| 県 債 管 理 基 金 | 0         | 40,254    | ▲ 40,254     | 皆減   |
| そ の 他 の 基 金 | 9,801     | 21,941    | ▲ 12,140     | 44.7 |
| 合 計         | 10,251    | 62,195    | ▲ 51,944     | 16.5 |

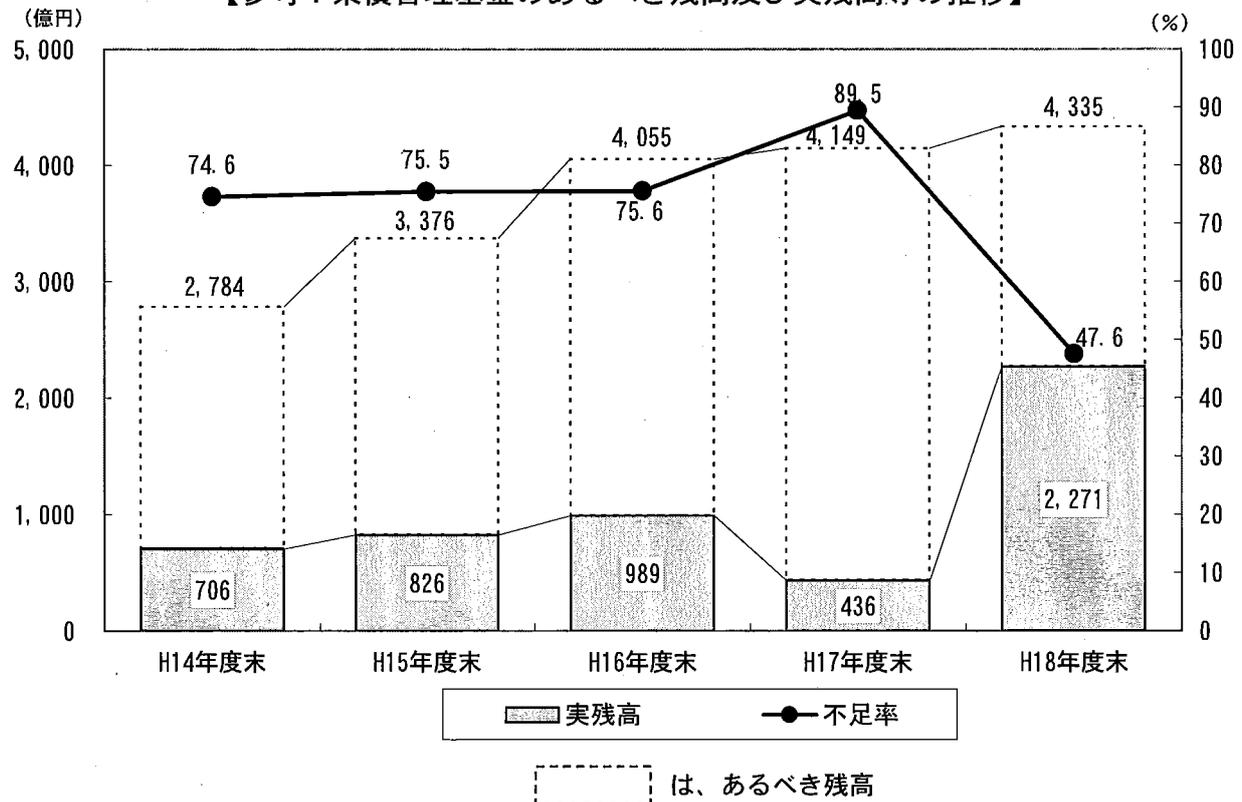
◇ 16 基金取崩額と残高の推移

(億円)



※ 折線グラフは取崩額の推移、棒グラフは残高の推移を示す。

【参考：県債管理基金のあるべき残高及び実残高等の推移】



(5) 県 債

○平成16年災害に対する復旧事業が概ね終了したことに伴う災害復旧事業債の減少などにより、県債発行額全体で前年度比7.2%減の2,124億円

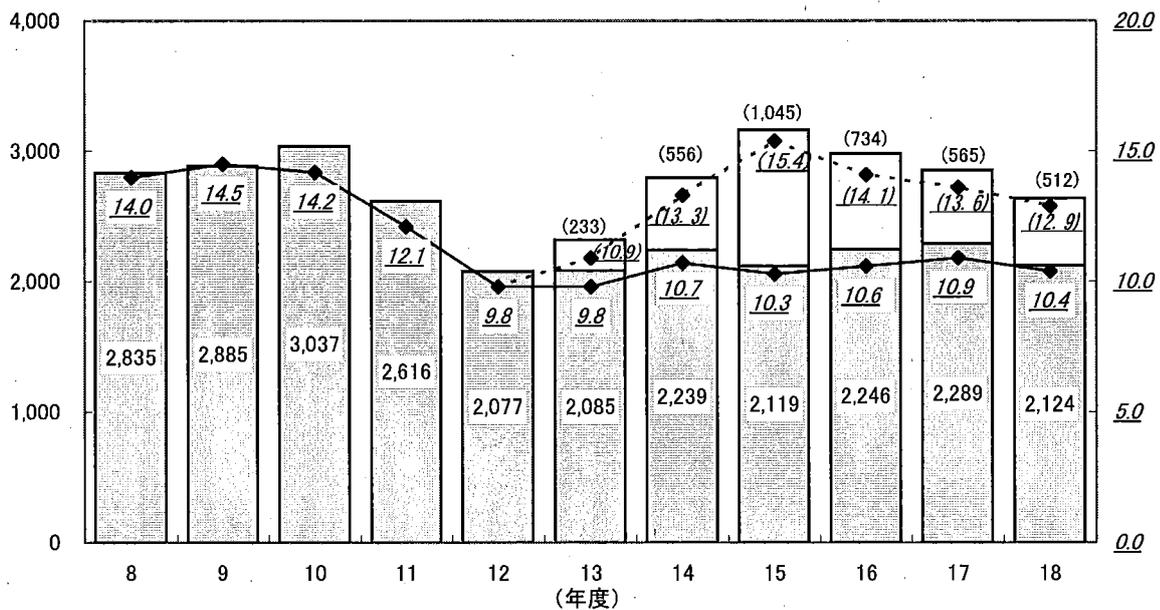
○県債依存度は10.4%と、前年度に比べて0.5ポイント減少

○なお、団塊の世代の大量定年退職等に伴う平成18年度以降の退職手当の大幅な増加に対処するための財政措置として講じられた退職手当債を150億円発行

◇17 県債発行額 (単位：百万円、%)

| 区 分             | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 増 減<br>(a-b) | a/b  |
|-----------------|-----------|-----------|--------------|------|
| 県 債 発 行 額       | 212,386   | 228,909   | ▲ 16,523     | 92.8 |
| 一 般 公 共 事 業 債   | 56,572    | 59,515    | ▲ 2,943      | 95.1 |
| 一 般 単 独 事 業 債 等 | 87,223    | 91,921    | ▲ 4,698      | 94.9 |
| 行 政 改 革 推 進 債 等 | 46,476    | 53,580    | ▲ 7,104      | 86.7 |
| 退 職 手 当 債       | 15,000    | 0         | ▲ 15,000     | 皆増   |
| 災 害 復 旧 事 業 債   | 1,510     | 10,151    | ▲ 8,641      | 14.9 |
| 減 税 補 て ん 債     | 5,153     | 8,795     | ▲ 3,642      | 58.6 |
| そ の 他           | 452       | 4,947     | ▲ 4,495      | 9.1  |
| 参 考             |           |           |              |      |
| 臨 時 財 政 対 策 債   | 51,166    | 56,506    | ▲ 5,340      | 90.5 |
| 再 計             | 263,552   | 285,415   | ▲ 21,863     | 92.3 |

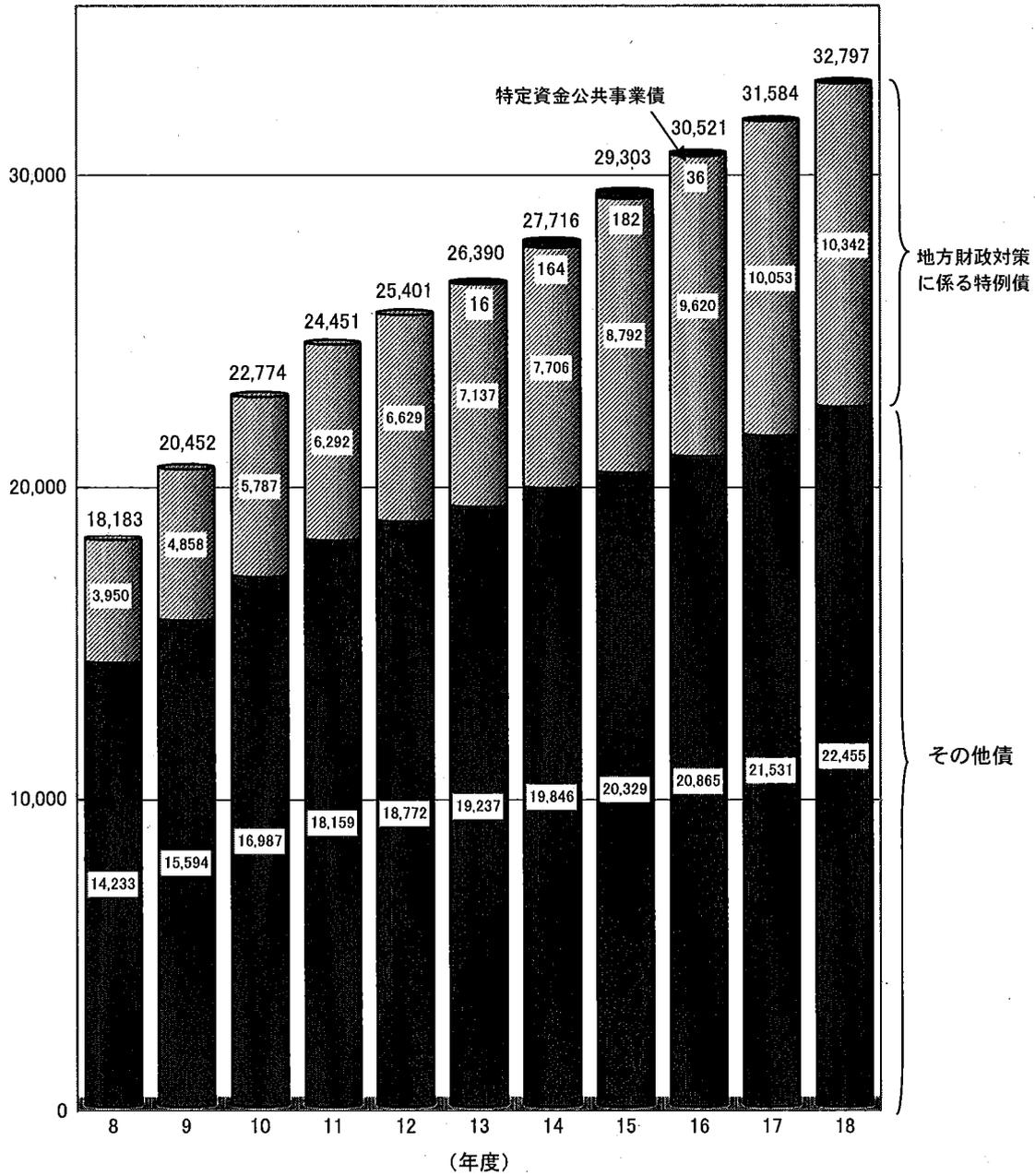
(億円) ◇18 県債発行額・県債依存度の推移 (％)



- ・ グラフの白抜き部分は、臨時財政対策債及び特定資金公共事業債の発行額
- ・ 折れ線は県債依存度の推移であり、点線(●◆◆◆)は臨時財政対策債及び特定資金公共事業債を含む場合
- ・ 阪神・淡路大震災復興基金貸付金債(H7~8)を除く。

### ◇19 県債残高の推移

(億円)



- ・「地方財政対策に係る特例債」…減税補てん債、減収補てん債、臨時財政対策債、財源対策債
- ・16年度までの県債残高には、阪神・淡路大震災復興基金貸付金債を含まない。

## 5 歳 出

### 1. 義務的経費 8,606億円 (前年度比 ▲615億円, ▲6.7%)

- 公債費は、阪神・淡路大震災貸付金債の利子皆減（▲314億円）や平成18年度の簡保資金の償還日が翌営業日（平成19年度）になったことによる減（▲126億円）などにより減少
- 人件費は、退職手当が99億円の増となったことに伴い増加
- 扶助費は、市町合併により生活保護費等の支給事務が県から新市へ移行されたこと等により21億円の減

### 2. 投資的経費 3,226億円 (前年度比 ▲642億円, ▲16.6%)

- 普通建設事業費は、芸術文化センター等の施設整備事業の終了に伴い減少
- 災害復旧事業費は、平成16年災害に対する復旧事業が概ね終了したことにより減少

### 3. その他経費 8,527億円 (前年度比 +603億円, +7.6%)

- 三位一体の改革に伴う国庫補助負担率引き下げによる福祉関連経費に係る県費負担の増や、県債管理基金の残高不足回復のための積立金の増等により増加

#### ◇20 性質別歳出

(単位：百万円、%)

| 区 分                  | 18年度      |       | 17年度      |       | 増減<br>(a-b) | a/b   |
|----------------------|-----------|-------|-----------|-------|-------------|-------|
|                      | a         | 構成比   | b         | 構成比   |             |       |
| I 義務的経費              | 860,579   | 42.3  | 922,114   | 43.9  | ▲61,535     | 93.3  |
| (1) 人件費              | 633,542   | 31.1  | 625,118   | 29.7  | 8,424       | 101.3 |
| (イ) 職員給              | 471,295   | 23.1  | 471,795   | 22.5  | ▲500        | 99.9  |
| (ロ) 退職手当             | 58,528    | 2.9   | 48,638    | 2.3   | 9,890       | 120.3 |
| (ハ) その他人件費           | 103,719   | 5.1   | 104,685   | 5.0   | ▲966        | 99.1  |
| (2) 扶助費              | 20,422    | 1.0   | 22,575    | 1.1   | ▲2,153      | 90.5  |
| (3) 公債費              | 206,615   | 10.1  | 274,421   | 13.1  | ▲67,806     | 75.3  |
| II 投資的経費             | 322,598   | 15.8  | 386,757   | 18.5  | ▲64,159     | 83.4  |
| (1) 普通建設事業費          | 309,563   | 15.2  | 334,629   | 15.9  | ▲25,066     | 92.5  |
| (イ) 補助事業             | 138,592   | 6.8   | 141,956   | 6.8   | ▲3,364      | 97.6  |
| (ロ) 単独事業             | 140,052   | 6.9   | 158,780   | 7.6   | ▲18,728     | 88.2  |
| (ハ) 国直轄事業負担金等        | 30,919    | 1.5   | 33,893    | 1.6   | ▲2,974      | 91.2  |
| (2) 災害復旧事業費          | 13,035    | 0.6   | 52,128    | 2.5   | ▲39,093     | 25.0  |
| III その他経費            | 852,668   | 41.9  | 792,367   | 57.3  | 60,301      | 107.6 |
| (1) 物件費              | 40,121    | 2.0   | 40,525    | 1.9   | ▲404        | 99.0  |
| (2) 維持補修費            | 12,576    | 0.6   | 13,070    | 0.6   | ▲494        | 96.2  |
| (3) 補助費等             | 441,903   | 21.7  | 416,785   | 19.8  | 25,118      | 106.0 |
| (イ) 税交付金(地方消費税清算金含む) | 196,004   | 9.6   | 184,122   | 8.8   | 11,882      | 106.5 |
| (ロ) 社会福祉関連経費         | 160,497   | 7.9   | 139,244   | 6.6   | 21,253      | 115.3 |
| (ハ) その他補助費等          | 85,402    | 4.2   | 93,419    | 4.4   | ▲8,017      | 91.4  |
| (4) 積立金              | 45,159    | 2.2   | 4,789     | 0.2   | 40,370      | 943.0 |
| (5) 投資及び出資金          | 6,744     | 0.3   | 7,641     | 0.4   | ▲897        | 88.3  |
| (6) 貸付金              | 61,642    | 3.0   | 60,789    | 2.9   | 853         | 101.4 |
| (7) 繰出金              | 244,523   | 12.0  | 248,768   | 11.7  | ▲4,245      | 98.3  |
| 合 計                  | 2,035,845 | 100.0 | 2,101,238 | 119.7 | ▲65,393     | 96.9  |

注) 国直轄事業負担金等：国直轄事業負担金、同級他団体施行事業負担金及び受託事業費

(1) 義務的経費

①人件費

○職員給は4,713億円と前年度に比べ微減となったものの、定年退職者の大幅な増加等により退職手当が前年度比20.3%増の585億円となったため、全体では前年度比1.3%増の6,335億円と2年連続で増加

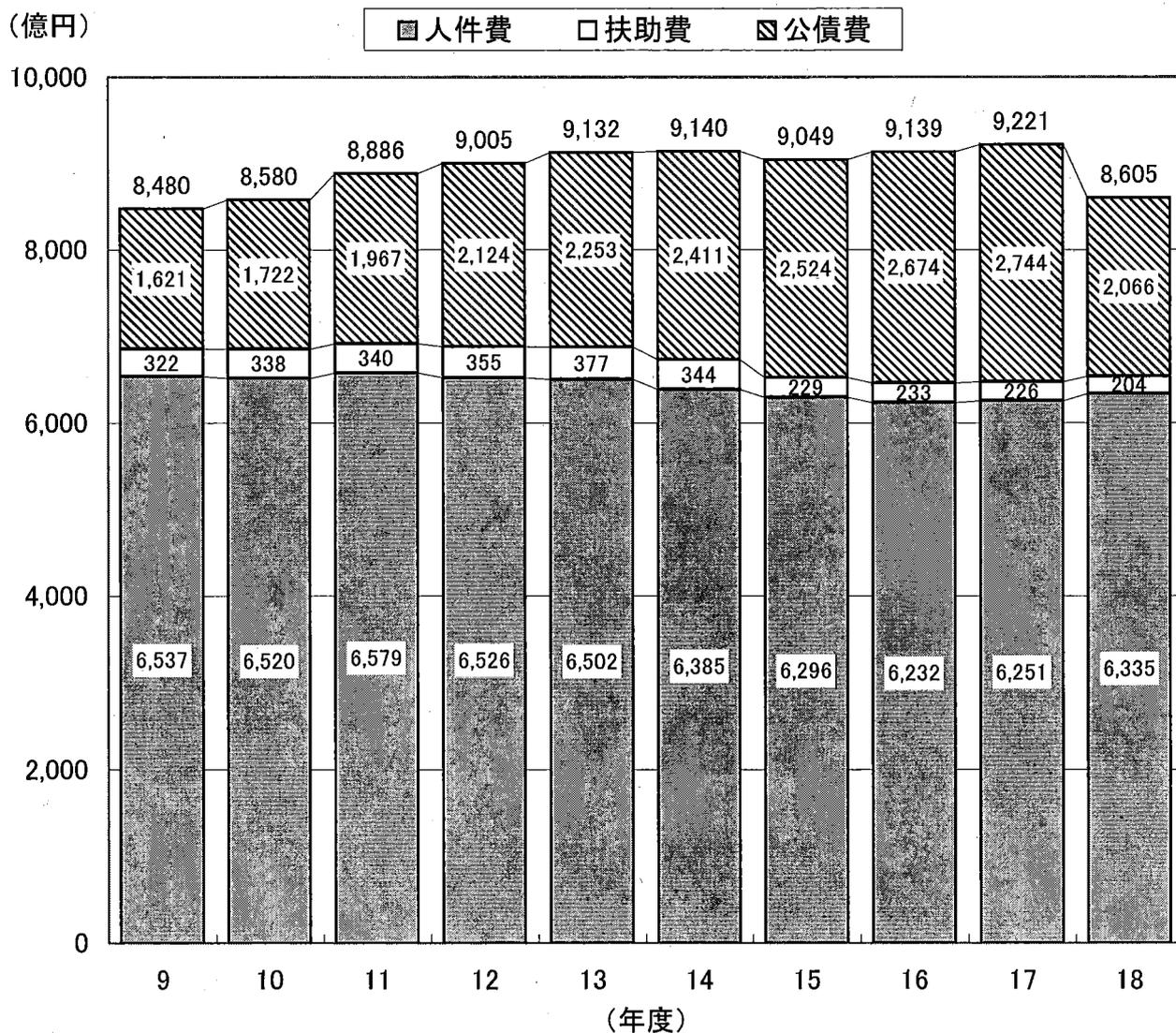
②扶助費

○市町合併により市が増加したため、生活保護や児童扶養手当の支給事務が県から新市へ移行されたこと等に伴い、前年度比9.5%減の204億円

③公債費

○阪神・淡路大震災復興基金貸付金債の償還完了による利払いの皆減(▲314億円)や平成18年度の簡保資金の償還日が翌営業日(平成19年度)となったことによる減(▲126億円)などにより減少

◇21 義務的経費の推移



## (2) 投資的経費

○投資的経費総額は、前年度比16.6%減の3,226億円

### ①補助事業

・国の公共事業関係経費の抑制に伴い、前年度比2.4%減の1,386億円と、10年連続で減少

### ②単独事業

・芸術文化センターや総合リハビリテーションセンターランチ等の施設整備が終了したことから、前年度比11.8%減の1,401億円

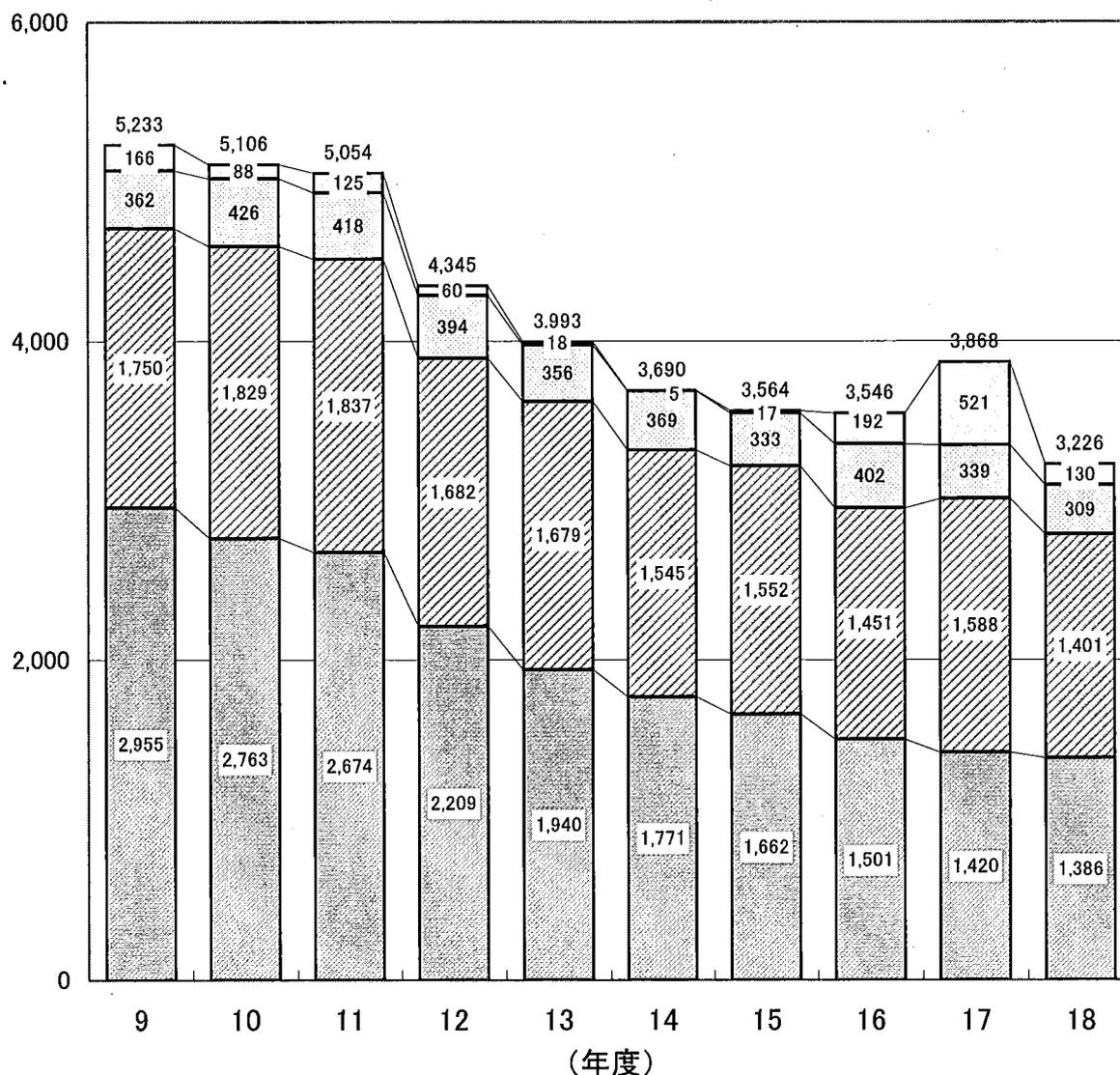
### ③災害復旧事業

・平成16年災害に対する復旧事業が概ね終了したことにより、前年度比75.0%減の130億円

## ◇22 投資的経費の推移

(億円)

■普通補助 □普通単独 □その他 □災害復旧



(3) その他の経費

**主な増加要因**

- ・ 県税の都道府県間での清算金及び市町への交付金（税交付金）の増
- ・ 三位一体の改革による国庫補助負担率の引き下げに伴う県費負担の増  
（介護給付費県費負担金、児童手当交付金、国民健康保険財政調整交付金）
- ・ 県債管理基金の残高不足回復のための積立金の増 など

**主な減少要因**

- ・ (財)ひょうご震災記念21世紀研究機構に対する震災記念基金造成のための補助金の減
- ・ 衆議院選挙及び知事選挙事務費に係る市町交付金の減
- ・ 経済統計等調査費市町交付金の減
- ・ ひょうご県民住宅復興ローン貸付金の減 など

◇23 その他の経費のうち、主な増減

(単位：百万円、%)

| 区 分              |                        | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 増減<br>(a - b) | a / b |
|------------------|------------------------|-----------|-----------|---------------|-------|
| そ の 他 の 経 費      |                        | 852,668   | 792,367   | 60,301        | 107.6 |
| 主<br>な<br>も<br>の | 税交付金（地方消費税清算金含む）       | 196,004   | 184,122   | 11,882        | 106.5 |
|                  | 介護給付費県費負担金             | 39,006    | 32,121    | 6,885         | 121.4 |
|                  | 児童手当交付金                | 9,688     | 3,582     | 6,106         | 270.5 |
|                  | 国保財政調整交付金              | 19,702    | 14,313    | 5,389         | 137.7 |
|                  | 県債管理基金積立金              | 31,419    | 0         | 31,419        | 皆増    |
|                  | 震災記念基金造成事業補助金          | 0         | 5,000     | ▲ 5,000       | 0.0   |
|                  | 衆議院選挙及び知事選挙事務費に係る市町交付金 | 0         | 3,743     | ▲ 3,743       | 皆減    |
|                  | 経済統計等調査費市町交付金          | 211       | 2,457     | ▲ 2,246       | 8.6   |
|                  | ひょうご県民住宅復興ローン貸付金       | 13,000    | 14,413    | ▲ 1,413       | 90.2  |

### III 特別会計決算見込みの概要

#### 歳入歳出決算見込額（13会計）

歳入 1,261,140百万円（前年度比 71.7%）

歳出 1,255,345百万円（前年度比 71.6%）

- ・公債費特別会計において、平成17年度で阪神・淡路大震災復興基金貸付金債の元金償還（586,670百万円）を行ったことから歳入歳出規模とも大幅に減少
- ・歳入歳出差引額（形式収支）は、5,795百万円の黒字となり、平成19年度への繰越財源を引いた実質収支も5,469百万円の黒字

#### ◇24 特別会計決算収支

（単位：百万円、%）

| 区 分                    | 歳 入       |           |       | 歳 出       |           |         | 形式収支<br>(a-b)<br>c | 実質収支  |
|------------------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|---------|--------------------|-------|
|                        | 18年度<br>a | 17年度<br>b | 前年度比  | 18年度<br>b | 17年度<br>c | 前年度比    |                    |       |
| 県行造林事業                 | 26        | 34        | 76.5  | 26        | 34        | 76.5    | 0                  | 0     |
| 港湾整備事業                 | 3,246     | 3,330     | 97.5  | 3,229     | 3,264     | 98.9    | 17                 | 17    |
| 公共事業用地先行取得事業           | 31,729    | 26,117    | 121.5 | 31,729    | 26,114    | 121.5   | 0                  | 0     |
| 県営住宅事業                 | 35,063    | 36,446    | 96.2  | 34,964    | 36,095    | 96.9    | 99                 | 98    |
| 勤労者総合福祉施設整備事業          | 4,990     | 5,915     | 84.4  | 4,990     | 5,915     | 84.4    | 0                  | 0     |
| 流域下水道事業                | 31,942    | 33,904    | 94.2  | 31,551    | 33,678    | 93.7    | 391                | 66    |
| 庁用自動車管理                | 340       | 361       | 94.2  | 337       | 353       | 95.5    | 3                  | 3     |
| 公債費                    | 512,401   | 1,206,170 | 42.5  | 512,401   | 1,206,170 | 42.5    | 0                  | 0     |
| 自治振興助成事業               | 2,069     | 2,118     | 97.7  | 2,055     | 2,072     | 99.2    | 14                 | 14    |
| 母子寡婦福祉資金               | 801       | 814       | 98.4  | 283       | 320       | 88.4    | 518                | 518   |
| 産業開発資金                 | 428,804   | 441,253   | 97.2  | 426,316   | 437,896   | 97.4    | 2,488              | 2,488 |
| 農林水産資金 <sup>(※1)</sup> | 15,030    | 2,535     | 592.9 | 12,765    | 421       | 3,032.1 | 2,265              | 2,265 |
| 基金管理 <sup>(※2)</sup>   | 194,699   | —         | 皆増    | 194,699   | —         | 皆増      | 0                  | 0     |
| 合 計                    | 1,261,140 | 1,758,997 | 71.7  | 1,255,345 | 1,752,332 | 71.6    | 5,795              | 5,469 |

※1：農林水産資金は、農業改良資金、林業・木材産業改善資金、沿岸漁業改善資金を統合し、平成18年度新設

（農林水産資金の平成17年度欄は、農業改良資金、林業・木材産業改善資金、沿岸漁業改善資金の合計額を計上）

※2：基金管理は、県債管理基金の残高不足を回復するための緊急対策を行うに当たって平成18年度新設

#### IV 公営企業会計決算見込みの概要

##### 歳入歳出決算規模（7会計）

###### 収益的収支

収入 121,137百万円（17年度 112,913百万円、前年度比 107.3%）

支出 125,237百万円（17年度 115,207百万円、前年度比 108.7%）

###### 資本的収支

収入 36,657百万円（17年度 28,752百万円、前年度比 128.6%）

支出 81,969百万円（17年度 49,323百万円、前年度比 106.2%）

・収入支出の差引額は、収益的収支で▲4,100百万円、資本的収支で▲45,312百万円

##### ◇2.5 公営企業会計決算収支

（単位：百万円）

| 区分    | 病院事業 | 水道用水供給事業 | 工業用水道事業  | 電気事業     | 水源開発事業 | 地域整備事業 | 企業資産運用事業  | 合計      |           |
|-------|------|----------|----------|----------|--------|--------|-----------|---------|-----------|
| 収益的収支 | 収入   | (82,608) | (16,371) | (3,811)  | (295)  | (0)    | (9,612)   | (216)   | (112,913) |
|       |      | 80,211   | 16,307   | 3,857    | 299    | 0      | 20,338    | 125     | 121,137   |
|       | 支出   | (87,588) | (15,150) | (3,181)  | (269)  | (0)    | (8,974)   | (45)    | (115,207) |
|       |      | 86,606   | 14,954   | 3,224    | 272    | 0      | 20,123    | 58      | 125,237   |
|       | 差引   | (▲4,980) | (1,221)  | (630)    | (26)   | (0)    | (638)     | (171)   | (▲2,294)  |
|       |      | ▲6,395   | 1,353    | 633      | 27     | 0      | 215       | 67      | ▲4,100    |
| 資本的収支 | 収入   | (6,708)  | (9,243)  | (717)    | (0)    | (173)  | (11,595)  | (316)   | (28,752)  |
|       |      | 12,181   | 9,061    | 498      | 0      | 170    | 14,747    | 0       | 36,657    |
|       | 支出   | (8,775)  | (16,103) | (2,277)  | (78)   | (173)  | (21,776)  | (141)   | (49,323)  |
|       |      | 12,269   | 16,277   | 1,977    | 63     | 170    | 41,072    | 10,141  | 81,969    |
|       | 差引   | (▲2,067) | (▲6,860) | (▲1,560) | (▲78)  | (0)    | (▲10,181) | (175)   | (▲20,571) |
|       |      | ▲88      | ▲7,216   | ▲1,479   | ▲63    | 0      | ▲26,325   | ▲10,141 | ▲45,312   |
| 合計    | 収入   | (89,316) | (25,614) | (4,528)  | (295)  | (173)  | (21,207)  | (532)   | (141,665) |
|       |      | 92,392   | 25,368   | 4,355    | 299    | 170    | 35,085    | 125     | 157,794   |
|       | 支出   | (96,363) | (31,253) | (5,458)  | (347)  | (173)  | (30,750)  | (186)   | (164,530) |
|       |      | 98,875   | 31,231   | 5,201    | 335    | 170    | 61,195    | 10,199  | 207,206   |
|       | 差引   | (▲7,047) | (▲5,639) | (▲930)   | (▲52)  | (0)    | (▲9,543)  | (346)   | (▲22,865) |
|       |      | ▲6,483   | ▲5,863   | ▲846     | ▲36    | 0      | ▲26,110   | ▲10,074 | ▲49,412   |

※ 上段（ ）書きは、前年度の数値である。